真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	病児・病後児保育事業	担当課・係	健康福祉部　保育課　保育係
政策名　No	2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	1　子育て支援の充実		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	真岡市で子育てしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

病児保育を実施する医療機関及び病後児保育を実施する民間保育所に対する業務委託
・病児保育事業（利用定員１２名/日）
児童が病気の回復期に至らない場合で、かつ、当面の症状に急変が認められない場合において、当該児童を一時的に保育する事業。
西真岡こどもクリニック内「西真岡Sick　Kids」において実施。
令和７年度から芳賀郡内からの広域利用を開始。
・病後児保育事業（利用定員４名/日）
児童が病気やけがの回復期で、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を一時的に保育する事業。
西真岡第二保育園において実施。

【財源】子ども子育て支援交付金（国・県・市各1/3）

前年度の課題（Check）

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
・病児保育事業
【実績】病児保育　延べ1,485名 31,183,000円
送迎事業　延べ　30名　74,800円
減免事業　延べ　59名　82,950円
総事業費　31,340,750円
広域利用 益子町、茂木町、市貝町、芳賀町で開始。
利用者　延べ103名　負担額2,063,884円
・病後児保育事業
【実績】延べ5名　総事業費　6,363,000円

【２】結果と課題（Check）
病児保育、病後児保育ともに国の交付基準に基づき実施しており、実際に利用した児童数に応じて補助単価が変動する。
病児保育については、コロナ感染症の５類移行後、利用者が定着している。
一方で、病後児保育は、利用者数が延びない状況であるので、利用者拡大に向けた病児保育から病後児保育へのスムーズな移行、事業の周知が今後の課題である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
委託料については、子ども子育て支援交付金（国・県・市各1/3）のため、改善の余地がない。
病児保育の利用については、オンラインでの予約が可能であり保護者の負担軽減が図られている。一方で、病後児保育は電話で空き状況の確認や医師の同意、当日のキャンセル料金の発生が弊害となっているため、令和８年度に手続きの簡略化等、事業者と検討予定。また、病児保育、病後児保育ともに、５月に事業の周知を実施予定。

（2）長期的な計画で検討すること